日本ネットワーク

中国・四国・九州・沖縄

JAPAN METAL BULLETIN Local Network

福岡支局 FUKUOKA
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3丁目23番22号
シティ22ビル
TEL.(092)472−3887 FAX(092)472−3888

共和工業所

SSAB社製 耐摩耗鋼パイプ 在庫拡充し拡販

空気輸送配管向けなど

【倉敷】産業機械製作、鋼材加工業の共和工業所（本社＝岡山県倉敷市、石本隆一社長）は、スウェーデンスティール社（SSAB社）製の耐摩耗鋼パイプ「HARDOX TUBE500（ハルドックス・チューブ）」の拡販に注力する。このほど、在庫サイズのラインアップを拡充した。高い耐摩耗性、軽量性を生かし、コンクリートプラントや製鉄所設備の空気輸送配管などでの採用拡大を目指す。来年にはSSAB社の機械構造用鋼・工具鋼「TOOLOX（ツーロックス）」の鋼板在庫も始める。

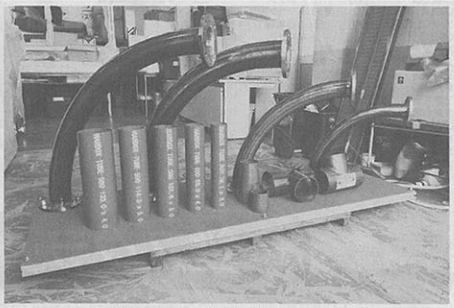
石本社長

4サイズ追加 曲げ加工も

国内でハルドックス・チューブ500を在庫するのは共和工業所のみ、「スウェーデン鋼」として有名な耐摩耗鋼板ハルドックス500と同じ機械的特性を持つ鋼管で、高い硬度と良好な溶接性、加工性を備える。新たに入荷したのは外径76・1ミリ（肉厚3ミリ、65A相当）、外径88・9ミリ（肉厚4ミリ、80A相当）、外径101・6ミリ（肉厚5・3ミリ、90A）、外径114・3ミリ（肉厚5ミリ、100A）の4サイズ。定尺6メートルを各サイズ9本取りそろえ、以前から取り扱っている外径133ミリ（肉厚4ミリ）と合わせ、ラインアップは5種類となった。

想定される用途はプロワなどを使い粉体を空気輸送する配管など。直管部分は従来製品を使用し、摩耗の激しいカーブ部分に集中的に採用することでメンテナンスコストの低減が可能になるという。特殊な鋳鉄管を使うケースでは置き換えによる大幅な軽量化も実現でき、施工性の向上にもつながる。

これまでハルドックス・チューブの曲げ加工は自社では難しく、部材を溶接して作る「エビ管」で対応していたが、新たに山口県の外注先と提携したことで、曲げ加工（ベンド管）も可能となった。



在庫を5サイズに拡充、曲げ加工にも対応した

18年前半には械構造用鋼・工具鋼「TOOLOX」鋼板の在庫をスタートする予定だ。ハルドックスに比べ、高い加工性、耐熱性を持つ鋼種で、機械部品などでの利用拡大を見込む。

共和工業所は2009年にSSAB社の製品取り扱いを開始、12年には「ハルドックスWEARPARTS（ウェアパーツ）」の認定加工場となった。17年8月期の売上高は11億3000万円。完成前の工事額が多く、減収となったものの、利益は前年並みを確保した。18年8月期は売上高12億500万円を計画する。ハルドックスなどSSAB社製品の扱い量は16年8月期の年間160トンから17年8月期は200トンに増加。18年8月期は前期比10%程度の拡大を目指す。今年1月の大型レーザー加工機の稼働開始で鋼板の切断能力が向上した。今期はこれに合わせ前後工程の生産性向上を図るほか、ガス溶断設備の能力に余裕が出たことから厚板加工の充実を目的に天井クレーンの増強などを検討する。

特殊鋼機

二次加工品の受注強化

メーカーと関係深化 提案型営業も

【北九州】九州地区の有力特殊鋼流通である特殊鋼機（本社＝北九州市、吉永博社長）は特殊鋼分野における加工品の受注営業を加速させる。これまでの流通機能である素材の在庫販売および切断加工（一次加工）にとどまらず、熱処理や溶接、精密切削加工など二次加工を施し、半製品に して最終ユーザーに納入する。同社の売上高に占める加工品の比率は約40%。二次加工の受注営業を強化し、比率をアップさせることで、さらなる成長を目指す。

同社は数年前から二次加工品による受注拡大を打ち出し、軌道に乗っている。機械メーカーや製缶メーカーなど最終ユーザーからすれば、材料の発注から仕様設計、業者の選定、納期などの打ち合わせなどリードタイムの短縮化および省力化につながることから好評を得ている。

本社外観

こうしたニーズが増えていることから、同社はこれを捕捉し、加工品の受注営業を強化していく。

その手段として今春には主要取引メーカーである大同特殊鋼と北部九州における工具鋼ストックヤードとして契約。メーカーとの関係を強化した。

また、これまでに年数をかけて営業社員の若年化を図り、現場を活性化。提案型営業のレベルアップに努めている。今後、さらなる若者の雇用や情報システムの構築を構想しており、柔軟な発想による提案を行い、加工品の受注を強化していく方針だ。

17年度下期の四国地区展望

ように『は行性』がある。

前年に比べ6割程度の水準にとどまっている。特 は。

「建築、土木は若干少 なくなるが、案件自体が

「道路関係ではトンネル工事や河川領域の高架橋工事などが多 港湾桟橋等の整備投資も底堅いとみている。

将来の四国新幹線の導 った投資案件に加え て、自動化・ロボット関係の産業分野の企業 も、ひも決め

エコテクノ2017が開幕

新日鉄住金・神鋼など出展

きょうまで開催

【北九州】福岡県や北九州市などが主催する西日本最大級の環境・エネルギー分野の展示会「エコテクノ2017」が11日、北九州市小倉北区の西日本総合展示場で開幕した。鉄鋼業界からは新日鉄住金グループと神戸製鋼グループなどが出展。きょう13日まで開催している。

新日鉄住金グループのブース